

ぴぽっと 南光台通信

第21号

2020年5月25日

発行

地域生活サポートセンターぴぽっと南光台



発行： 社会福祉法人つどいの家地域生活サポートセンター「ぴぽっと南光台」
責任者： 檜山 智彦(管理者)
住所： 981-8003 仙台市泉区南光台 3丁目 1-24
連絡先： TEL 022-779-7341 FAX 022-779-7342



管理者よりご挨拶

檜山 智彦

突然ですが、私 2019 年末、無事 40 代に突入しました。入職の頃から私を知っている人など、あいつもそんなに歳をとったのかと思う人もいれば、見た感じアラフィフだと思ってたという人もいれば、あいつは出会ったときからおっさんだったから変わらないと思う人もいます。物事の感じ方や捉え方は立場によって違ってきますね。

個人的には、歳を取っても某健康酒を飲んでいるから大丈夫とか、納豆やヨーグルトなど発酵食品とっているし！海藻朝夕食べているから体調も髪の毛も問題ない等と高を括っていたのですが…。

気付きませんでした。私厄年でした。数え年なんですね（12 月生まれの私は約 2 週間で 2 歳なんですね。人より老けて見えるはずです）。

今年になったとたん、車が運転中止まった、神奈川研修で行きも帰りも電車が止まったに始まり、急性胃腸炎で 40 にして初めての救急車&入院体験、交通事故、お風呂に浸かっただけであつという間にのぼせてそのまま意識が飛んでいたり…と、ハイペースでトラブルが続きました。厄年はついていない年言うのでしょうか、きっと違い、厄年という昔の人が経験から知っていた体の変化が明確に表れる歳、気を付けていこうと継承されてきたことなのでしょう。

厄年だけではなく、先日終わった端午の節句と菖蒲、もうすぐやってくる夏越の祓いの茅の輪くぐりなど、歳の変化や季節の変化で崩れやすい無病息災を願う行事はたくさんあり、それを願う気持ちは今も昔も今後も変わらない思いでしょう。温故知新という言葉の大切さをこういう時だからこそよく感じますし、そういったことを学ぶのが楽しい今日この頃でした。

今、世の中はコロナウィルスの流行で様々な影響が出ています。正直、今の日本でこれだけの病気が流行るとは思いませんでした。どこか遠い時代の話だと思っていました。伊達政宗さんが片目になる要因になった疱瘡も当時の流行り病であり、市内を歩くと飢饉等で疫病やコレラが流行った等、弔う石碑も意外と多く見られます。身近にそのことを感じられる物事が意外とあります。でも、忘れられているものがほとんどです。今回のコロナウィルスの流行を乗り越えて、過去になっていく時が来ると思います。しかし、それを忘れないこと、学んで生かしていくことはとても大切なことかなと思います。

一方で今回のことをきっかけに、色々な新しい取り組みが生まれたり、工夫が生まれたりしています。特に、個人的に印象深いのはリモート技術です。外に出なくてもみんなと交流できる、会議ができる、安全面や時間の効率的にもとても便利なものだと思います。また、それが浸透していくのには技術だけではなく、取り組もうとする人たちのように、周りも一緒に発展・変化していくことが大事だなと感じます。

それは今回の件だけではなく、しょうがいなどであつて外に出るのが大変な人たちにとっても便利なものかと思っています。ただ、この場合

「出ずにすむ環境」が発展していくとともに、「出ることができる環境（同様に車椅子・バリアフリー・呼吸器など技術や、そのための情報技術、出るまでの心身的なサポート、周囲の人の理解など）」も発展していくことが大事なんだろうと感じます。

色々な人の話を聴いたり、色々な本を読んだりしていると対面的かつ多面的な物事の捉え方、取り組み方に触れることができとても勉強になります。それらの視点を忘れずに、今後もこの仕事を頑張っていきたいと思う今年度の個人的抱負を持ちまして、新年度のご挨拶でした。



「職員紹介」

4月に異動してきた職員です。どうぞよろしくお願いいたします。



Tomohiko



管理者： ひやま 檜山 ともひこ 智彦

ぴぼっと支倉から異動してまいりました。行ったり来たりですが、またよろしくお願いいたします。

「ぴぼっと南光台」

- レスパイトサービス
「すてっぴ・はうす」
- ホームヘルプサービス
「ぺんたす」
- 総務（管理者・事務）

ぺんたす



syogo

おぼら しょうご
小原 翔牙 つどいの家・

アプリから異動してまいりました。真面目な性格で、覚えが悪いのですが、皆さんに教わりながら安心安全なヘルパーを目指していきます。よろしくお願いいたします。



seiji

おりはら せいじ
折原 誠司 ピボット若林から

異動して来ました。久しぶりにヘルパー復帰です。以前一緒だった職員も多く、楽しい職場です。利用者さんと楽しく過ごすことが私のモットーです。よろしくお願いいたします。

すてっぴ・はうす



yū

さかきばら ゆう
榎原 悠 つどいの家・アプリ

から異動してまいりました。皆さんがほっと一息安心して過ごせるような場所にできるよう、いろいろと教えていただきながらがんばります。よろしくお願いいたします。

異動した職員（異動先）

管理者	佐藤 秋男	（ぴぼっと支倉）
ぺんたす		
サビ責	小野 拓也	（若林障害者福祉センター）
ヘルパー	小野 和彦	（つどいの家・コペル）
ヘルパー	山口 大輔	（つどいの家・アプリ）



ぴぼっと南光台 事業紹介

ぺんたす

(障がい者ホームヘルプサービス事業)



「ぺんたす」が再編成して一年が経ちました。今年度は、登録利用者が約140名、職員・登録ヘルパーが24名(昨年より男性職員が1名足りない・・・(-_-;))でスタートしました。ほうれんそう(報告・連絡・相談)、権利擁護、業務のスリム化を意識し、より安心して利用して頂ける事業所を目指していきたくと思います。

昨年度末からはコロナウィルスによる緊急事態宣言と世間も落ち着かず、利用者の皆様にはご利用を控えて頂いたり、時間短縮をして頂いたり、ご理解ご協力を得ながら運営をしている状況です。

早く落ち着き、以前と同じように一緒に過ごせることを楽しみにしています!

南光台地域の方とも挨拶を通じ、少しでも地域を盛り上げるためのお役に立てればと思っております。

最近、「ぺんたす」ではなく「ペンタス」とカタカナでFAXが来るのですが…。ぜひ、ひらがなで「ぺんたす」と覚えて頂けたらと思います!(^^)!

今年度もよろしくお願い致します!!

(今野)

すてっぴ・はうす

(仙台市障害者家族支援等推進事業)



いつも、「すてっぴ・はうす」をご利用いただきありがとうございます。

レスパイト事業(仙台市障害者家族支援等推進事業)は、仙台市の独自の補助事業として、市内にお住いの障がいのある方を抱えるご家族様の急病や急な用事、または日頃の介護から少し離れてリフレッシュしたい時などに、すてっぴ・はうすにてご家族に代わり日中の一時的なお預かりや宿泊をするサービスです。

現在、感染症対策により「密」にならないよう利用調整をさせていただくため、皆様のご協力をいただきながら進めさせていただいております。

4月からは「つどいの家・アプリ」より異動にて《^{さかきばら}神原 ^{ゆう}悠》が新しく職員に加わりました(●^o^●)

気持ちも新たに今年度も楽しくスタートしています(^▽^)/

どうぞよろしくお願い致します。

(児玉)

職員随想 第4弾

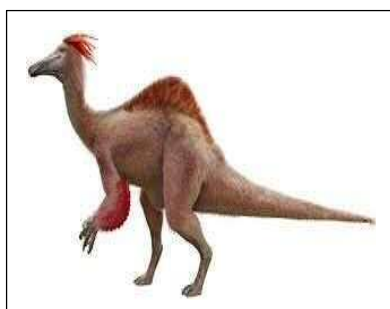
べんたす 木下 洋子

外出が制限されるようになって2ヶ月強、我が家では、すれ違いの食事から毎日揃って食事をとれるようになりました。食事の時に録画している番組を観ることが多いのですが、この日は最近発見されたデイノケイルスという珍恐竜の特集でした。体がピンク色？の体毛のとても大きな恐竜で、手には赤い羽根があります。恐竜らしからぬ風貌に大うけの我が家だったのですが、研究員の方の話や母親が敵から卵を守る姿、それでも全ては守ることができず食べられてしまう自然界の厳しさに…と、いつの間にかみんなで夢中になって観てしまっていました。

子供が大きくなってきてから、ワイワイ話しをしながら盛り上がるのが、少なかったのでこんな風に過ごすのがとても懐かしく、楽しい時間でした。

最初は、自粛生活が続く中、思うように動けないと下を向くこともあったのですが、いつまで続くかわかりませんが、同じ時間を過ごすなら笑って楽しく過ごそう♪と思うようになりました。この機会に色々な発見をしてみたいと思います！！

ちなみに恐竜は、現在、体毛があったことがわかったそうです。ティラノサウルスにも体毛があったとか…。驚きでした★



「三丁目市」(バザー) 中止のお知らせ

今年度のバザーは、この度の新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、中止させていただくこととなりました。

☆バザー物品に関しては、今年度も募集しております☆

ご家庭に眠っている使える生活雑貨・使える日用品 (食品含む)・新品食器・贈答品・新品に近い衣類・壊れていないおもちゃ など・・・

バザー品の提供をお願いします！ 皆様のご協力をお待ちしております★

ご協力いただける方はご連絡ください！受け取りに伺います。



●受付時間 10時～18時

●連絡先「ぴぼっと南光台」 [022-779-7341](tel:022-779-7341)



法人ホームページご紹介



「社会福祉法人つどいの家」のホームページをリニューアルいたしました。

ホームページ内^①ご寄付のお願いに、つどいの家のあゆみを年表にして掲載しております。1992年の法人格取得以前の活動から最近の活動までを社会の流れや仙台市の状況などとともに表していますので、ご興味のある方はご覧ください。

当法人は『どんなに重いしょうがいのある人も、地域で差別されることなく、いきいきと自立した地域生活ができるよう、自己実現の場を保障し、支援すること』を基本理念に掲げ、社会福祉事業を展開しております。

ここ、「びぼっと南光台」は東日本大震災により大きな被害を受けた仙台つどいの家(南光台東1丁目)の一時的な活動拠点でした。当時は「難民を助ける会」様から助成いただいた1棟を含め、3棟のユニットハウスを構えて活動していました。おかげ様で仙台つどいの家は平成25年に宮城野区幸町に移転再建いたしました。

その後、ユニットハウス1棟を残し、平成26年に地域交流スペース「サロン」としょうがいのある人への家族支援であるレスパイト事業(震災以前は仙台つどいの家の敷地内で行っていましたが)実施のための建物を新築しました。併せて、ヘルパー派遣や相談支援を実施、複合的な機能を有する地域生活支援の拠点となりました。現在も事務棟は「難民を助ける会」様から助成いただいた中古ユニットハウスを使用しております。



サロン



事業棟



事務棟

サロンは地域の方への貸し出し、バザーや子供たちを対象としたイベントの開催で、多くの方々に足を運んでいただいています。今後は地域の方々とともに、この地域で必要とされる新たな資源創出についての展開や活動についても考えていきたいと思っております。そのためには事務棟建替えの資金確保も重要な課題となっています。

「しょうがいのある人が住み慣れた街で豊かな生活をし続けられるよう」
「誰一人取り残されることのない社会を構築できるよう」

ホームページ内でご支援の受付(クレジット決済)やボランティア募集をしております。また、各事業所のブログもございますので、お時間のある方は是非一度、ご覧いただき、ご支援・ご協力をいただけましたら幸いです。

[社会福祉法人つどいの家](#)

[検索](#)

<https://www.tsudoinoie.or.jp/>

(事務：山口)

御礼

先日、南光台地域包括支援センターを通して、ご近所様より毛布を寄贈していただきました。大切に使用させていただきます。ありがとうございます。

編集後記 新しい職員体制で令和2年度がスタートしました。現在、レスパイト・ヘルプとともに十分なサービス提供が行えない状況ではありますが、皆様の安全を第一に最善を尽くして参りますので、引き続き、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。 山口

